

このイベントは終了しました

北海道大学 低温科学研究所

将来、低温研で
学びたい方も大歓迎!!

一般公開

令和7年6月7日(土)
10:00~16:00

参加
無料

ていおん ふ し ぎ せ かい たんけん
低温の不思議な世界を探検しよう!

極地(−50℃の世界)を体験しよう

超低温保存室(分析棟 1 階 178 号室)

南極やグリーンランドの内陸は冬になると平均気温が−50℃を下回ります。極地で採取した雪氷試料を保管している低温施設を見学して−50℃を体験してみませんか。



- ・時間は、10:10、10:50、11:30、13:10、13:50、14:30からの6回
- ・所要時間は15分 各回先着 8名(玄関受付で整理券を配付します)
- ※小学生以下および体調が悪い方等はお遠慮いただきます

秋のイチョウ並木の色を作る

講堂前ホール(新棟 3 階)

秋になって気温が下がるとイチョウの葉は黄色くなります。寒くなると光合成ができないので、クロロフィルを分解するためです。葉の色素を抽出して、クロロフィルを分解すると黄色くなることを確かめてみます。合わせていろいろな光合成生物を展示します。

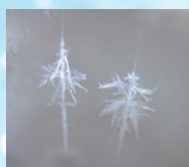


- ・開催時間は10:00~12:00、13:00~16:00
- ・操作は中学生以上、5分程度です。

氷や雪の秘密

交流ラウンジ(新棟 3 階)

本当は水が凍り始めるのは0℃ではない!? ペットボトルの中に雪を再現できるのかな!? 簡単な実験で、雪や氷の秘密を実感してみませんか。



雪の結晶は生きている?

講堂(新棟 3 階)

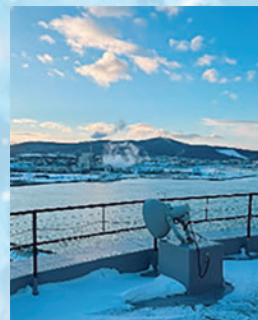
雪の結晶が大変美しい樹枝状に成長する様子を疑似体験していただけます。シャボン膜の中で氷結晶が美しい樹枝状に成長してゆく様子を観察してみましょう。また、国際宇宙ステーションを利用して行ってきた微小重力実験の様子や装置等をご覧ください。



寒冷地のPM2.5~その正体を探る~

講堂前ホール(新棟 3 階)

PM2.5は都市だけでなく寒冷地の森や海などからも発生し、ありとあらゆる場所で私たちの身近な生活に影響を与えます。その正体や寒冷地での役割など、最新の研究も交え易しく説明します。



南極・北極・世界の氷河・氷床を学ぼう

講堂(新棟 3 階)

低温研では、南極、北極、パタゴニアなど世界の氷河氷床で、現地調査、人工衛星データの解析、氷コアの分析、数値シミュレーションなどを実施しています。また、次世代の極地研究者を育てるために「南極・北極学」教育プログラムを展開しています。



流氷とオホーツク海の不思議

講堂(新棟 3 階)

冬になると流氷に覆われるオホーツク海。そんな流氷の海はどのような場所なのか? 環オホーツク圏で行なわれている調査や研究から分かりやすく紹介します。



低温科学研究所

札幌市北区北19条西8丁目

URL <https://www2.lowtem.hokudai.ac.jp/>

後援：札幌市教育委員会、北海道私立中学高等学校協会



地下鉄南北線 北18条駅より徒歩約10分